THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷　第四十七號

大正五年十一月十七日發行（每週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□心の訓練……小橋三四子
□時事週評……
□戀愛に基く葛籐…馬場孤蝶
□思ひ切った亞米利加婦人……片山みさ子
□倹約物語「軒しのぶ」……近藤浩
□一夫一婦制……山脇玄
□噂……
□長者が菊……廣田花崖
□二點の花……
　只夢中なりしと語る　上村松園女史
　御衣ずれの音の床しさを語る蕉園女史
□今日になる迄　女醫(二)……吉岡彌生
□頭腦の經濟法……澤田斬雲
□不眠症の人の看護法……□井かう子
□オハナシ　信ちゃんの信子さん……花𡋽
□林檎料理……北國人
□水仙と菊……千葉晩香
□子供の智惠「△ユダヤの村はどちらで」△海の涙」……
□小說「暗調」……高田てい子
□讀者から……
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘　郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心の訓練

常に新らしかれ

□新らしいお婆さん

此の間或る雜誌に宮田修氏の母堂が、アンナカレニナの劇を見る前に、二千幾頁かの其の小說を繙讀して、よく筋を理解した上見に行つて、非常に興味が深かつたといふ話が出て居りました。これを見て日本にも新らしいお婆さんがある、年取つても、心掛次第では、これ程迄に進んで行かれる事であらうかと頼もしく思はれました。すると近く神近市子さんの出來事のあつた時、德富蘇峯氏の母堂は、これを聞かれて「此方の胸が痛い」と言ひたる兩眼に淚を浮かべられた同情の有樣は、八十八歲の方とは思へぬ柔かい溫かみを覺えました。

□不老の元氣

かやうな方々は、髮は白く、眼は暗く、腰は曲つて行かれても、心は不老の新らしさをいつも持つて居られます。どんな事件に對しても、之れを深く知らうとする念もなく、批判する餘裕もない、頑固な頭を持つた若い人達に比らべて、いくら心に活氣を持つて居らるゝかも分りません。この不老の心は、强ち澤山書物を讀んだからとて、多くの若い人々に接したからとて得らるゝものではなく、自ら心の訓練を心掛ける者でなければ求められないのであります。

□渾沌時代の今日

四書五經や女大學が唯一の學問であり、修養であつた時代は、もはや遠く去つて、今日は時々刻々さまざまの思想が入り亂れて舞踏して居るやうな忙しい時代であります。而して渾沌限り無き思想の中に、時にわが執る道さへも見失ふことが尠なからぬのであります。況して世の出來事を批判して、人心の向ふ所を指示する等は、僭越至極のやうにも思はれます。

□對者の位置に座つて

さればと云つて、渾沌の渦中に卷かれて行つて、何の批判を下さなければ、いつ迄も心の眼は開かれませぬ。獨斷を恐れて、暫し沈默するのは、やがて深く之れを知る第一歩の謙遜な態度であります。この時只消極に終らずに、其の態度を以て對者の位置に座り、心靜かに事件の内容を觀察して行けば、同情の念と共に、事件に對する批判を下すことが出來ます。

□日常の出來事

「近代の劇は、人間の住家の一方の壁を破つて、看客に見せるものである」と申す程に、事實は捉へ方によつては、極めて深刻な味ひがあるものです。狹い家庭の中にあつても、絕えず頭腦を働かして居る者には、問題は數限りなく湧き出でゝ參りませう。問題のある者は、物事を空疎かには見聞せず、之れを氷解する思想を强く求め、其の求むる心によつて、心を訓練して行く事が、尠なからぬのであります。

□延びるのと枯れるのと

或る女學校の敎師は、「高女卒業の人々も、家庭に入つては、新聞等に親しみを持つて居る者は、尠なからう」と申して居られましたが、それが事實ならば、誠に痛ましい事であります。た

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ゝ家庭内の雑務に汲々として働らいて居る間、その子女はいつしか成人して、あらゆる好奇の眼を瞠つて、新知識を築いて行きます。延びる知識と、枯れる知識の間には、忽ちにして大なる罅隙を生じて、遂に兩者は全く理解のない者となり、子は親の前に何事も包み、親は子の爲る事は、正邪善惡の區別なく呪ひ初めるといふ悲劇も往々起る事です。

口教師と生徒

教師と生徒との間も、丁度この親子のやうに思想の隔りが生じます。骨肉の親しみなき兩者の間には、仇敵も只ならぬ有樣となり、導く責任ある教師が、却つて長者の權利を濫用して、延びんとする穂先を摘み取つてしまふことがあります。教育者は普通の者を相手とするのであると云へば、それ迄ですけれど、教師の同情なき爲め、すく〳〵と大きく發展すべき才能を持てる者が、却つて脱線することは、惜しんでもなほ餘りある事であります。

口自分も幸福

學窓時代の人のみに學問を強ひて、自ら進まうとすることに骨折らぬ人は、わが子わが生徒に反逆者を作る基となります。わが心狀を語つても理解されないと思へば、靑年は遂に人前だけを誤魔化せばよいといふ不眞面な態度にならざるを得ませぬ。わが心が常に如何なる人の立場にも立ち得て、其の事情を汲み得る訓練をつくれば、いつも若やかに進んで行く事が出來ます。年少者は、若やかな新らしい氣分のある人の心に抱かれて其處を搖藍として、のびやかに育てられて行くやうになれば、眞に黄金時代と云ふ事が出來ませう。只に靑年壯年者に幸福のみならず、老いて尚不老の元氣を蓄へ得らるゝ、其の人自身にとつて、何よりも樂しく嬉しい事でありませう。(三四子)

二

時事週評

口ウ氏再選　一時ヒユーズ氏當選の由傳へられたる米國大統領は其の後確聞する處によれば、ウイルソン氏再選せられたとの事です。氏の平和主義は各國の依つて以て賴みとする處であります。漸く去らんとする日米間の感情問題も、氏の抱負の遺憾なく行はれて、其の蟠りの一掃せられんことを祈ります。

口初めての女議員　日本の社會が、初めての女理學士に目を聳てゝ居る時に、米國には初めての女議員ミス、ジヤネツト、ランキンが、モンタナ州から選出せられたと云つて、注目の的になつて居ります。學識德望共に備つた淑女が、因襲なき眼で議會に列席する事ですから、定めて政治に就て新らしい意見も生れて來る事でありませう。いつもながら勇氣ある米國婦人に感服の外はありませぬ。

口大杉榮氏刺さる　神近市子、伊藤野枝の兩人が、同時に大杉榮の情人として一つの戀を追ひ、三人は自由戀愛に對する深き思索を巡らすものゝ如く、大膽に其の行爲を發表したるが、いまだ中年ならずして、此の一大悲劇を生むに至りました。三人の中比較的純な心を持つて居つた神近市子は、常に「二人の間は花瓣の散る如くありたい」とて、大杉と別るゝにしても自然の時、理解のある行き方をしたいと望んで居つたにも拘らず、遂に其の自由な心を失つて、盲目的行爲に出で、大杉を刺して獸理の人となつた事は、悲しむべき事であります。自由戀愛の實行者は、神の如き理智と意志とを備へて、初めて誤りなきを得るでありませうに、肉に溺れて行く結果は極めて平凡に、且つ恐るべき點に歸着して行かざるを得ないのであります。尚此の問題は、神近市子氏の豫審中は、言論を謹しむべきでありませうから、之れ以上は云はぬことにしました。

口電車割引時間變更　十六日より割引時間を變更して、午前五時半より七時迄となりました。今日迄の六時限りに比らぶれば、勞働者にとつては、非常に便宜になつた譯です。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戀愛に基く葛藤

世が進めば少くなる

馬場孤蝶

□眞の自由戀愛

ある程度まで文明の進んだ社會に於ては、人が戀愛の對者を定めるには趣味によつて之れを決定します。言葉をかへて言へば、戀愛が單なる肉慾と言ふものから幾らか離れる譯であります。で社會がだん／＼進むに從つて、その趣味も共に發達していつて適當な相手を搜がすことがます／＼出來るやうになります。然う言ふ狀態の最も發達した社會になれば、戀愛の相手即ち男女が、自己の配偶者を定める場合にあつて、今日の如き外的の制限をうけることがなくなつて、專ら趣味によつて決定を下すと言ふことになります。さう言ふ狀態になれば戀愛の相手を決定する相手にとつては、戀愛が自由であればあるほど其處に自己の撰擇を行ひ、ある種の節制を行ふのに快樂を感じ、誇りを覺えると言ふことになると思ひます。

□危險なき時代

でさう言ふ社會になつて來れば、自由戀愛は何等の危險を生ずることもなく、何等の不便を生ずることもなくして、やはり多數は一夫一婦の狀態をつゞけるものであらうと思ひます。が今日の如き社會制度のもとでは自由な撰擇をなすことも妨げられるし、又多數の人々は自分の奧底の心の命令に從つて行動をすることに於いて充分の訓練を經てゐないのであるから、さま／＼の弊害が伴ひくるのは免がれ難いことであります。

□現狀開拓の努力

處で夫れならば今の狀態を破ると言ふ努力を吾々はせずに、唯、現狀のまゝでゐるのが宜しいかと言ふことになると、吾々は少しく現代の社會に對しては無理なことになつても多少の努力はして宜いと思ひます。尙その上に、今の狀態といふものが少しく人間本來の方法には都合の惡いものになつてゐるのでありますから、之れを幾分かよき方に向はせやうとするには外から少し極端に見えるやうな思ひ切つた事もしなければならなからうし、また新らしき世を來させやうとする努力が現代のさま／＼の障害に會つて正當の途よりも少し曲つた方にいつて了ふことも、之れ又、止むを得ないことであると思はれます。

□私自身の立場

さうすると問題は、私自身が思ひ切つた方法をとるか、如何かと言ふ問題にもなると思ひますが、甚だ私は臆病な申分ながら、思ひ切つた努力を戀愛の方面でするのは夫れが爲めに蒙むるさま／＼なる不便が吾々の戀愛以外の仕事に及んで來るのでありますから、まづ吾々は戀愛以外の仕事をする爲めに、利害打算の上から、戀愛の方面はまづ後廻しにしておくと言ふことになつてゆきます。かう言ふ人々は、私以外にも多數にあることゝ思ひます。であるから吾々は他人の戀愛事件に對しても、あの人は損なやり方をしたと思ふ方が主になる場合はありますが、善惡の宣告を下すことには、さう勇敢ではあり得ません。

□眞の人間的生活に迄

處でよく世の中に起る戀愛から生ずる殺生事件と言ふものになりますと、之れは現代の社會制度がいろ／＼手傳ふことであつて、彼れが惡人だとか、彼れが善人だとか俄かに決定することは六ケ敷い。否、むしろ戀愛のことで殺生事件を起す人々は比較的善人だと言はなけれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ばなりますまい。人間は誰れでも生きてゐたい。生きるには第一食物がなければならない。その食物が自由に得られない今の社會に於ては、人間の本道から見て、さま〳〵な變體が生ずる譯であります。社會制度は變りましても、戀愛に基づくさま〴〵な葛藤は決して悉く絶えていくものだとは言へなからうけれども、さう言ふ事件の發生はよほど數を減ずるであらうと思ひます。吾々は人間が自由に、且つ快く人間第一義の所謂道德生活即ち吾々の言葉で言ふ所の、眞の人間的生活をなし得るやうな時代の來ることに努力すべきものであらうと思ひます。夫れに就いては、吾々の現在の生活に多少の不便、多少の損失を生ずるのも夫れを厭つてはゐられない事だらうと思ひます。

思ひ切った亞米利加婦人

私信の一節

在シャトル　片山みさ子

○衣更への時

丁度私が此方に參りました時は復活祭の前で、町の店々、食料品店お菓子屋の飾り窓には、玉子型のお菓子を多く見うけました。そして花屋の店には眞白な百合花が一ぱい飾つてありました。處がもう只今ではクリスマスの用意で、何處も忙しさうに見え出しました。ウオマン、ホーム、ジオーナル等の雜誌を見ても、クリスマスの贈物に適した品々といふ廣告で頁を埋めて居ります。イースターとクリスマスとは此方では「衣更へ」の時季になつてゐるんださうです。從つて婦人の頭腦と手腕とは大に揮はるゝ際なのでせう。在留日本人の多くが流行を追ふほどの餘裕もなく、殊に氣不精者の私は、たゞ皆の思ひ切つたハイカラ振りを、窓のカーテン越しに眺めて居ります。

○左官をする大屋の主婦

思ひ切つたと云へば、當地の婦人は何れの方面にも思ひ切つて、自己を發揮することに努めて居るらしいやうに見えます。大學の生徒さんの中には、婦人で鑛山科などを修めて居る人さへあります。ボーバーオールと云ふ勞働服を纏つて、壁塗りをする大屋さんの夫人もあるほどです。私の知つた方の家で、壁が汚れたので、修繕をたのみますと、翌る朝左官と一緒にゲードモーニングと云つて這入つて來たのは、大屋さんのお内儀だつたさうです。その人は平生は極く愼み深さうな、ピンク色のアフターヌンドレスを楚々と着こなして、御主人と散歩に出たり、ピヤノを上手に彈じたりする人でしたから、まさか荒い仕事をこんなに平氣でするとは思はなかつたと驚いて私に話して居ました。オーバーオールがすつかり壁土で汚れた夕暮、グードバイと云つて歸つたあと、綺麗になつた壁を眺めつゝつく〴〵偉らいものだと感心したなんてその人が云つて居ました。(つゞく)

四

儉約物語(二)

軒しのぶ

晝支度の頃になりますと、女中が『今日の御惣菜は何にしましやうか』とお上(主婦)へ尋れますとお上は『そうへな今日は「軒しのぶ」にしておきいなあ』と御下命がある。ところでこの軒しのぶと聞いただけでは、何ぞ美しい結構な御馳走のやうに感ぜられますが、これは又京一流の名稱で、實は大根の葉を軒に吊して、陰干にしたものを雜魚ダシで煮つめたもので、最も婉曲に廢物を利用したものであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一夫一婦制
先づ結婚法の改良が必要

法學博士 山脇玄

□純な穩やかな家庭

先哲は「一國の文明はその婚姻の正否によつて窺知することが出來る」と申して居ります。其の意は若し婚姻が正しい方法で行はれてゐなければその家庭は治まらない、その家庭が治まらなければその國家社會もまた治まらない、と言ふのであります。全く政治家でも、學者でも實業家でも、純な、穩やかな家庭にあつてこそ一意專心にその業務に勤勉努力し得ませうが、若しその反對に、波亂の絶え間ないやうな混濁な家庭でありますなら、さながら木に依つて魚を求めやうとする如く、決して專心己のが仕事に携り、好成績を擧げることは不可能であります。

□正しい婚姻

では正しい婚姻と言ふのはどう言ふものかと申しますに、普通文明國で廣く認められてゐるのは、相思相愛の男女が一心同體となつて互に助け合ひ、そして益々修養を積んで世の文明に寄與するのを言ふのであります。然るに我が國の婚姻は全然之れに反した意義と內容とを持つてゐます。夫れを露骨に言ひますなら、嫁ぎゆく女の對象物は婚家にゐる未來の夫となるべき男ではなくして、その家なのであります。しかもその目的はその家を將來までも傳ふべく、その相續する子を產む事にあつて、言はゞ子を產む爲めに腹を借しに行くやうなものであります。でありますから夫の撰擇は家の事に經驗を積んでゐる父母に一任して了つて、嫁ぎゆく娘自身は一向意に留めないやうに見えます。幸にして家を繼ぐべき子が授かれば目的を達した譯だから泰平無事に治まるでせうが、不幸にして子供が無い時などは婚家を去らねばならないやうな悲慘な地位に立つか、或は夫が他し女に馴れ染めて家を外にしたり、女を家庭に引き入れても風敎上の問題となつて社會の制裁を受けるのでもなければ、如何なる仕向けを妻に向つて行つても嫉妬心を起したり、不平を鳴らしたりするやうな擧動に出てはならないと爲されてゐるのであります。斯樣な不合理な不人情な因襲のあつた我が國、又現に向ほ存續しつゝあるこの社會にあつては、婚姻の必要條件たる相思相愛の結合力だとか世の文明に寄與する心懸けだとかと言ふやうな高尙な思想が存在しないからと言つても、毫も夫れを怪しむに足らない事だらうと思ひます。

□世の變遷に伴ふ要求

かく婚姻の眞義に背馳する現狀は抑々何に基因するか、又如何に之れを解決すべきかと言ふに、夫れは勢ひ我國古來の家族制度の存廢に論及せねばならぬことになります。維新前の國家社會の組織にあつては、政治法律經濟等諸般の制度がみな家族制度の上に組み立てられてゐましたから、その制度がしつくりと當時の實生活に適應して居て少しも不便な感じや不自由な感じは起らなかつたのであります然るに維新の大改革は古來の制度文物などのあらゆる設備を破壞して了ひました。その結果として世界文明の長所を採つて之れに代るべき新制度を創造するに當り、一も二もなくその立脚地を一變して悉く之れを個人の上に立たしめたのであります。即ち政治は立憲制に基いて人民

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にも國治上に參與することを許し、その他の設備も孰れも個人を對象としないものはなく、駸々と進歩發展して來たのであります。であるのにその總ての根本となつてゐる婚姻及び家族關係に限つては、依然として舊制度が踏襲され、尊重されてゐるとは、餘りに他の事と權衡を失ひ、步調が整はぬのではありますまいか。言ふまでもなく、婚姻の正否は人倫の正邪と密接な關係を有し、婚姻が正道を距れてゐれば從つて人倫も紊れ、世道人心に影響する所が極めて廣いことは了解し易い道理でありませう。故に宜しく現時の社會狀態に鑑みて、よくその要求に適應するやう人心の嚮ふべき歸着點を決めねばならないのは最も明白なことではありますまいか。

□結婚改善の道

世人が家族制度の家を重じて之れを子孫に傳ふべき因襲を金科玉條のやうにして喋々辯護致しますのは改めて言ふまでもなく、吾々の祖先が一家を創立し之れに家產を附して子孫末代までも繼承させやうとの遺訓を嚴正に遵守させやうとするに外ならないので有ります。吾々は固より祖先傳來の家を尊重せねばならない事をよく知つてゐます子孫たるものもまた祖先の愛護によつて未來永刧幸福な生活を營むのでありませう。夫れ故、その祖先を崇拜して容易に之れが存廢を試みるやうな不心得なことがあつてはなりません。又試みるやうな輕擧にも出ないでせう。けれども世の開明に伴つて制度文物は時々刻々に向上發展しつゝありまして交通居住及び職業の撰擇は自由自在となり別居も行はれるし、養子緣組などは目立つて少なくなり、その上人口が增殖し、宗敎や文學が種々な形式をとつて出現するに至りました。かうして社會狀態は漸く複雜緊頊となり、此處に大勢の必要上各般の新制度を見ることゝなつたのであります。夫れが爲めに、家族制度のみが獨り舊狀態を墨守してゐる譯にもいかなくなつて、知らず識らずの間に轉々と變遷推移しつゝあるのは是れ宇宙の法則の然らしむるところで、爭ふことの出來ない事實であります。しかも之れは如何に人工を加へました所で到底人力で左右し得るものでない事は言ふまでもない事であります。その上、今や吾が國は列强のお仲間入りをして一等國とまでも呼ばれる時代となりました。この時に當つても、まだ婚姻のやうに一國文明の表象となるべき重大事を時代の姿に合はぬ舊態のまゝで國粹として保存する譯にも行きますまい。須く、世界共通の眞義に則つて之れが改善の途を講せねばなりますまい。果して然うすることゝなれば今日の場合は一夫一婦の制を措いて、他には良制のないことは堅く信じて疑はぬ次第であります。この一夫一婦の制を

六

汎く實行するに就いて考究すべき主となる箇條は、まづ新郞となるべき人の撰擇と、その結果の良否とであります。その他に起る問題は悉くこの二つのものゝ從たる箇條と見て差支へないだらうと思ひます。

噂

▲神近市子さんが大杉榮氏を刺して獄屋に繋がれたと聞いては、年寄つた人達は只驚いて身を震はせる丈であらうと思はれるのに、此處に三人のお婆さんが、理解ある同情を寄せました。▲其の一人は德富蘇峯氏母堂久子刀自(八十八歲)で、此の事を聞かれて言ひたる兩眼に涙を浮かべて、「此方の胸が痛くなるほんに若い者がしつかりせんと、牧ふ者なき羊が澤山に出來る」とお仰しやつた▲矢島老女史は人が周圍を繞つて居る頃、いち早く聖書を差入れられた▲今一人は宮田修氏の母堂で、心盡しの差入物を送つて冷たい部屋に呻吟する人を慰められたのは、何れも床しいことでございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第一等　風草の佳（黃）

第一等　男山（雪白）

長者が菊

廣田花崖

□花が喜びます

川和の菊と云へば最早他の註釋を用ふる必要のない程、松林園中山恒三郎氏の菊は有名になつて居る。此菊花壇を花又は菊に對して、幾分物心ある眼で眺めたのは僅か三年前、私が奇禍後仙臺の病院から歸郷して後のことである。庭園の美觀を損するの故に下駄で入るを許されぬ、又は道義上下駄を遠慮せねばならぬ其庭園内に足の惡い私は菊を見やうとすれば俥で這入るより外致方がなかつた。其爲に數年間忸怩の中に過ぎたのであるが、其年涙ある一老友の紹介でと云ふより骨折で、漸へ宿志を果すことが出來た。其時其老友は觀覽後轍の跡を消すと約束したのであつた。平塲の花壇だけ見てから庭園を辭する時私が當然の禮儀として「御厄介になりました」と感謝の意を表したのに對して、主人の返事は特に菊のあるじを偲ばせるやうなものであつた。其時云はれた「何ういたしまして、花が喜びます。」と云はれた一語は、其後私の忘れ難い一つの記憶となつて居る。

□母刀自がお嫁入の山輿で

十一月七日に私は今年に於ける第一回の訪問を其菊に向つて試みた。主人は御在宅であつた。主人の御案内で先づ平塲の花壇を見た。折柄秋晴の美日であつた。今年は約十日間遅れたとあつて咲き出でたのは眞の數種、多分は今笑ふぞと云つた風の思ひ〳〵の顏をして花蕾今し綻びんとして居る。菊花界の一等花で、私の大好きな男山は目下花瓣伸展の眞最中であつた。此男山なる名稱は先代恒三郎氏が恰好の花を得た時に、命名しやうとして保存されたのを、生前所志を果されず、當代に至つて初めて此花を得、以て其名に當てたのださうである。正菊即ち狂菊の眞盛りは恐らくは十五日以後であらうと思はれた。平塲花壇に興を竭すと主人は母刀自を呼ばれて山輿の用意をし、俥夫は私を之に助け載せ俥夫と主人側より一人、二人の大正の雲助は私の輿をかいて數寄を凝らせし築山を上り、行く〳〵大菊花壇を賞しつゝ、望獄臺と呼ぶ富士に眞向の亭に一く茶を喫し、埒外に出で、或は老樹亭々たり、或に老杉鬱々たり、幽邃掬すべき境を一周して下山し、奥の一室に於て清き心の御饌に手厚い饗應を受けた席には能書家長谷轟堂氏ありて談興を助け、土方伯や山陽の書を壁間に眺めつゝ感謝に充てる時を過したのであつた。殊に興深かりしは私が載つた輿は母刀自が當家に嫁入らるゝ節、お乘りになつたそれであるさうで、私は其處に當時の花嫁の心の中など想像しつゝ、數十年の後偶然にも此乘物に載つた自分を心に興味深く眺めたのである。

□菊花が象徵する其家庭

本園は當代の先々代恒三郎氏の創始にかゝり、今年は八十八年目、目出度米の祝年に當るのださうで、此菊此家庭を育くむや、此家庭此菊を育くむやは孰れでもよい、さして恒三郎氏一家は元來物質的壓迫を知らぬ地方の長者であるとは云へ、併しながら實に美しい家庭である。渾然たる愛の家庭である。近所の噂に聞くと母刀自は怒つたことのない婦人ださうである。恒三郎氏又溫厚の君子人、此一家が如何に溫いものであるかは次の一例で知れる。同家には今年九十三になる老祖母君がある。人は多く同老人を主人の血肉の祖母の如く信じて居るが、併しそれは今の母刀自の實母君であつて、平和なる其家庭に心牽かれて三十年來此處を死所と定めて、極めて樂しい日を過して居るのださうである。あゝ誰か嫁姑を大敵と云ふや。いつもながら愛は力だと私はつく〳〵思つた。

尚本月一杯は最も好適なる觀賞時期である。本誌讀者諸君にして一日の閑を得給はゞ、東神奈川より中山驛に汽車を棄て、一日の清遊を試み給へ、十五六町の田舍道も都人の心を喜ばすべし、園内殊に大正の雲助を偲び給はゞ筆者の爲に最も幸甚也呵々（十一月八日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二點の花

御前揮毫の光榮を擔ひし兩女史

只夢中なりしと

語る上村松園女史

□繪のやうに化粧して

黄菊白菊薫る文展會場の一室皇后宮の御前に繪絹を展べて、優婉な彩筆に、鎌倉時代の白拍子を繪いて　陛下の御感を忝うしたる京都の女流畫家上村松園女史を、旅館にお訪ねしたのはもう女史が今夕東京を去られるといふ、十三日の午前であつた。

「けふはこれから美術展覽會と表慶館を見に參りたいと存じましてな」と、一寸の暇にも研鑽の念を離れぬたのもしさ、光澤美しい髪をなだらかに後ろに結んで、ほんのりと繪のやうに薄化粧をした女史が、一しほ重々しく美くしく見られる。「何時たつてもこれでいゝと云ふ時はありまへんでな　あれもこれもと順々に追はれて行つて、研究は生涯しても足りまへんわ」と京訛りも女史には、まことふさはしい。

□新らしい事に馴染めぬ

「京には若い女流の畫家がたんと居やはりますが、流儀が違ふので、私はいつも一人ぼつちやで」とて、「ほんまに新らしいもの〻眞似がよう〳〵出來ん質でしてな」とて、こんなお話を面白くして下すつた。女史の親戚に當る方が、京都で有名なホテルを營んで居られる。少しは新らしい習慣も知らなくては困るからとて、毎度々々招いては、洋食の卓に着かせてくれた。或る外人の宴會があつて、市の貴婦人方と一緒に其のホテルの客となつた。いよ〳〵食卓に着くと日頃教へ込まれた事もすつかり忘れて終つて、ナイフとフォークを持て餘して居られた。これではならぬと隣りや向ふの方をそとお見受けすると、厚い肉をも、スラ〳〵と器用に切つて召し上つて居られる。自分もその通りにすると、ガチャン、ピシャンと云つて、少しも肉が切れぬ。背に汗してやう〳〵其の場を終へてホツト息ついたといふこと、伺つて居る間に、初對面といふ事も、音に名高い大家といふ事も忘れて、邪氣のない叔母樣に對つて居るやうな心地になる。

□美しきものの限りをと

「皇后樣のお通り遊ばした時でつか、もう繪に夢中になつて居つて、何事も、辨へまへんでした」と、一と度彩管を握れば、女史の心は奪ふべからざる强さとなる、その穂先きから、なほ永く美しいもの〻限りを生み出してよと願はれた。（清子）

八

御衣すれの音の

床しさを語る蕉園女史

□席畫は初めての經驗

「私は席畫風に、人さまの前で畫をかきましたことは之れまで一度もございませんでした。よく外國から來朝された貴賓客などの前で席畫を畫いて欲しいと仰有つて下さる方もございましたが、さうした事には至つて不慣なものでございますから、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んなお斷り申して居りました。ですから、此度御前揮毫の御沙汰をうけました時は、全く無經驗な身の、どう致さうかと隨分思ひわずらひましたが、まあ何うにか……。』と言つて、閨秀畫家池田蕉園女史は幼々しくぽつと兩の頬を染めながら滿足さうに微笑なすつた。夫れは　皇后陛下が文展へ行啓あらせられた翌日、瀟々と秋雨のそぼふる中を田端の高臺の新居を訪れた時のお話である。房々とした黒髪を上方風の丸髷に結んで薄水色の手柄をかけ、黒衿のかゝつた着物を召したお姿は、さながら繪の中から拔け出た人かとも思はれる。

□御前揮毫の其の折

『私の書きましたのは元祿時代の風俗を寫したもので、留め袖を着た美しい、上品な女が春の歌を思つてゐるところでございました。何か美しい、趣きのあるものをと考へましたが、さう長い時間をとる譯にも參りませんし、經驗もないことでございますので……。』と言葉をつゞけて女史は一寸息をつぎ、『御前揮毫を致しましたのは彫刻室でございました。私共みんなが並んで筆を運んで居りますと、スラ〳〵と衣ずれの音がさやかに聞えて、チラリと群青色のお裾が目に入りました。夫れは陛下だつたのでございます。陛下には眞近い所まで玉歩を運ばせられて熱心に見そなはしてゐる御樣子、私は唯恐れ多くて何だか身が震へるやうに覺えました。お附きの女官方は洋裝の方もあれば、袿袴の方もあり、また大きな美しいお振袖に燃えるやうな緋のお袴を召した方も交つてゐられましたが、その神々しい光景はさながら繪で見るその儘のやうに覺えました』と。女史は語つて夢見るやうな眼を上げられた。

御前揮毫を終つた
松園女史（左）と蕉園女史（右）

□女史の新居

四疊半の中央に爐を切つてお茶室風に飾られたこのお室の床の間には、白と紫の野菊の小さい花が面白く入り亂れて香つてゐる。しつとりと落ち着きのある室、紅葉や菊の豐かに匂つてゐる裏庭のほの見える丈の高い建仁寺垣には、小さな音を立てゝしきりに雨が降注いでゐた。お別れして木の香のまだ新らしい門の邊りに立つて女史の過去を彩つてゐる花やかなローマンスを疊んでゐるこの新居をもう一度振り返つて見てゐると、秋雨の中を二つの傘がもつれながら出て來た。一つの傘は小太りの丈のすらりとした夫君輝方畫伯、もう一つの傘は蕉園女史である。お二人は近所に設けてある畫室へ行かれる途上でもあらう、若い人々の初戀のやうに何事か睦しさうに語らひながら步んでゐられた。（民子）

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今日になる迄

若き婦人の職業案内

專門の職業を營んで居る婦人が「今日になる迄」如何なる經歷を經、辛苦を積まれたかは、やがて若き婦人が自分の職業を撰ぶ案内になるであらうと存じます。以下號を追うて各方面の職業婦人の實歷や意見を此處に掲げて、成るべく徹底した婦人の職業研究を致したいと思ひます。讀者の方々も御質問や御意見を御遠慮なく御申越し下さい。

女醫（二）

吉岡彌生

口個人で開業するには

又個人で開業する人は、東京で初めるのが最も樂です。なくてならないものだけを備へて置いて其の他のものは、必要が起つた時にポツ／＼整へるやうにすれば三四百圓の開業費でも上りますが、地方では、醫療機械も一と通りは無ければなりませんから、どうしても千圓はかゝります。それに土地が狹いものですから、種々の情實が起つたりして面倒の多いものです。然し又一方には、珍らしいものを好む地方人は、土地に顔が賣れて居ると否とに拘らず、東京から來て新らしく開業したと云ふ樣な事を嬉んで集るものですから、開業したてから患者が割合に集つて參りますゆへ、これを上手に扱つて居れば、成功はさして困難の事でもありません。これに引きかへて、東京は開業當初の一ヶ年間位ゐは收入が無くても支へられる位ゐの用意が必要ます。然れども眞面目にやつて居れば、必らず四五人位ゐの家族を過して行くには、そんなに苦勞しなくてもやつて行かれます。開業醫の收入は、其の人によつて非常に相違がありますが、少ない人で年に二三千圓、多い人は八九千圓はあります。

口女醫の撰ぶによき科目

そして女醫が立つべき科目は、現在の日本の要求が産、婦人科、小兒科に女醫を望んで居りますから、この三科目の内を撰ぶ事が經營上の失敗なしに行かれる道です。けれども其の他の科でも女であるから出來ないと云ふ事はありません。却つて外科等は最も好んで澤山のものが其の方面に進みたがり、手術等の時には、男子よりも一層落付いて刀を扱ふ樣の處を見るに就けても、凡ての方面に適して居ると云ふ事が云へやうと思はれます。然し女子の本分から云つても要求から見ても、女醫はやはり産科、婦人科の方面に多く向つて慾しいと思ひます。

口女醫と社會事業

女醫の中には、澤山の家族を養はなけゝばならない者と、又家計に心配なくて、何か世の爲めになり度いと云ふ考へから女醫となる人もありませう。これ等の人々は進んで施療事業等の獻身的な仕事をして頂き度いと思ひます。又一般の女醫は家庭に近づいて、家庭を健全にして行くと云ふ事も重大な一つの役目であります。其の他これら女醫となるべき人に是非心懸て頂き度いのは、醫學の基礎學である病理、生理、解剖、細菌學等と云ふやうな、學術的の方面ですが、餘り收入が無い處から男子でもこの方面に向く人が少ないので非常に人に缺乏して居りますから明瞭の頭腦を持つて居る人達はこの方面に進んで根本から醫學の研究をして頂き度いと思ひます。も一つは盛に支那へ出て貰ひ度いのです。これは、支那の婦人は家庭に於ては、歐米婦人より以上の勢力を持つて居るのですから、これ等の婦人に接近して個人的の融和を計り國家をも利して行たいと思つて居ます。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

頭腦の經濟法（二）

薄田斬雲

□眠りを補ふ晝寝

頭腦の爲めには、何よりも眠る事が薬です、處が、其の眠りと云ふ事が、思ふ様に出來ないとなると、甚だ厄介です。處が夜眠れない人が、却て晝に眠れる事があるのですから夜眠れなかつたら晝の眠りを試みるのです。風を引くとか、腹が惡いとか云ふ時には、女でも晝、寝る事を、當然として居るが、睡眠不足を補ふ爲めの晝寝をば、大變行儀の惡い事と考へるのは愚な事です。女のヒステリーや虚弱は多く睡眠不足から來ます。境遇上、女は男よりも睡眠時間が少ない様に出來て居るからです。

□一日丸潰れになる

處が、私の睡眠不足の場合は實に具合が惡くなつて來るのです。前夜遅く寝ると、直ぐは睡れず、一時間も轉輾反側の苦みです、處が、其んな夜に限つて朝早く目が覺めて、寝て居るのが苦痛になるから起きる。飯を食ふ、モ一度臥床に入つて見ると、睡い様で眠れない、起きて見ると、ぼんやりして何にも出來ない、先づ午前半日は潰れる。晝飯後になつて、堪らなく眠くなる、二三時間も正體なく眠る。扨之れで午後半日も潰れる。晩は大變腦の具合が好いもの、夜、余り勉强すると、又眠れなくなるから止める、之れで一日丸潰れになるのです。

□私の毎日の習慣

若し人間を相手の仕事だと、少し位の眠さは氣にもなりませんが、机に向つて、讀むか書くとなると、睡眠を十分にしなくてはとても仕事が出來ません。

私の日課は、午前から、午後三時頃迄、机に坐り、三時から六時頃迄は散歩運動、夕飯後は、机に坐つても、成る丈け樂な仕事をする、八時過ぎには、仕事を止める、十時迄無駄話でもして十時に寝ると云ふ順序です。

處が、頭腦が一番能く活くのは何時かと云ふと、午後の二時三時です、之は今に散歩に出かけると云ふ、慰藉がある爲めに勵まされるのかも知れませんが、敢て然うばかりではありません。身體の弱い者は、睡眠狀態から活動狀態に移る時が、甚だ具合が惡いもので、私の頭腦の活らきは、朝飯後十時過ぎ迄は大變遲鈍なのです。八時半から十時迄の間と云ふものは、仕事に掛かるのが大儀で困つて了ひます。

□晝飯前が一番よい

十時過ぎになつて、身體が、起きて居る事に馴れ、血行も稍や整ひ、頭腦の活きも大分滑らかになる、目もはつきりする。十二時近くなると、晝飯前に今一仕事と言つた氣分になつて、空腹時は甚だ快いものです。晝飯を食ふと、急に氣が重くなつて又ぼんやり。一時半頃になつて元氣付き、二時三時頃は一番、書く事が捗取るのです。人に依つては、夕方から書き出して、夜十二時過ぎ迄續ける例もありますが、あれは余程健康體の人がやる事で、弱い者の決して倣ふべき事でありません。私があんな眞似をしやうものなら忽ち取返しの付かぬ病人になるだらうと思ひます。養生の秘訣は早寝に在りで、夜ふかしの勉强は毒です。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不眠症の人の看護法

女醫　藤井かう子

□本人よりも家族の注意

不眠症の場合、氣のいら〳〵する儘に、眠り藥を服用したり彼の藥、此の仕方と、安眠を得たい一方に氣を傾けるのは、却つて不眠症を嵩じさせるやうになります。不眠症を癒すのは、本人よりも家族の注意の方が大切です。本人には成るべく常と變らぬ仕事を執らして、家族の人がこれに充分同情し、安眠の境遇を作るやうに手段を工夫しなくてはなりません、

□仕事の轉換と運動

第一は仕事の轉換を計る事です。勉强、執務の妨げにならぬ限り、餘り一事に凝り過ぎぬやうに、働らく時間も、大概毎日規則正しく行へるやうにします。

さうすれば仕事が嵩んで居る、彼れもしなければ、此れも怠つて居るといふ責苦が少くなります。次にまた一定の戸外運動をして、成るべく靜かな清潔な道を歩む事や、庭掃除、テニス、子供と遊戯する事を奬勵するのがようございます。

□入浴とマツサージ

湯は成るべく就床前に毎日入れば、筋肉が緩み、神經が靜まります。不眠症に最も効力のあるのは、頸筋から頭にかけて、及び、腹部のマツサージです。これをしますと血の循環がよくなり、身體中の血が平均して來るので、大層心地よくて、自然眠くなります。腹部のマツサージは、お腹に、滯りがない様にするので、それと同時に夜、物を食べる事を謹まなくてはなりません。

□寢室の用意

就床起床の時間は概め一定し、床には足の方に湯たんぽを入れて暖かくし、部屋は成るべく早く暗らくして置きます、かういふ注意を家族の者が、無理のないやうに行へば、藥は餘り服まずによくなつて終ひます。

水仙と菊

十一月の装飾花

千葉　晩香

□其の清き香

水仙の花は外國でも古代から知られて居りまして、神話などに大女神の花輪とまで歌はれて居ります。有名なマホメット氏も「汝若し二ペンスを有たば、

十二

家庭お化粧(12)

▼現代要求の化粧法▲

▼神聖な家庭の象徴▲

‖擦るばかりては駄目‖

‖汚垢を吸收して落す‖

然るに汚垢は擦つたのみで落ちるものではありません、皮脂と汚物との抱合せられたものですから、單に物理的作用の擦る力のみでその皮脂の脂肪分を落すことは出來ません、それで擦つたばかりで汚垢が落ちたと思ひますのは、その時既に其の皮膚の表面、即ち表皮の角質層は無理に剝ぎ去られて居るので、皮脂の分泌によつて營まれる自然の營養作用から來る、皮膚の新陳代謝によつて美しくなるのでなく、無理に必要の而も美しい皮膚を剝ぎ去り荒して了ふのでございます。

されば皮膚を洗ひ汚垢を落しますのは、物理的作用では不可能といふよりも、美しくすべき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其の一片をもてパンを買ひ、殘りの一片を以て水仙花を求めよ」と申されたさうで、其の清き香は歐米に於ては古來盛に歡迎されて居ります。

□花瓶に裝飾する場合

花瓶などに裝飾用として使用する場合には、他の花を交せぬ方が觀賞に適して居ります。食卓を飾る節には、低い鉢に水仙の葉を交せて置くと、一層引き立ちます。他の葉物を使つて、水仙の花を飾る事は、却つて其の品位を引下げます。此の花を飾るには、淡泊に、そして自然的にする方が、其の質朴な美しさを傷けぬ事になります。もし此の花を飾る場合に、リリー、オブ、ザ、バレーを僅か計り交せると、非常に淡泊な裝飾が出來ます。

□菊を裝飾とする時

菊も亦何處までも他の葉物を使用せぬ樣にしたいものです。出來る丈け菊の葉を使つて裝飾せぬと菊の品位を傷けます。

林檎料理

北國人

□フライ鍋で燒く

林檎を六ツか八ツに切り心を除り皮付きの儘フライ鍋で燒く、箸がズブリと通るを程度とす。

□丸燒き

林檎を炭火へ直ちにでも又は網へ乘るなりしてゆつくり燒く。皮が所々黑く焦げて汁がジウ〳〵出る、汁の燒けた香が大變うまい、之れも心迄燒けた處を皮をはがして熱い中に食ふ、生で食ふのと違つて特殊の味がある。或は濡れた紙へ包んで火のほどへいけて燒くのも宜し。

□千六本

林檎を皮を剝き四ツに割り、心を除りて出來る丈け細く千六本に刻み卵煎餠を細く刻めるものと皿へ組合せて出す、酸味の多い林檎なら少し砂糖をかける。

□牛肉と一所に煮る

牛鍋を掛けて食ふ時、林檎を八ツ割にして一所に煮て食ふと林檎の汁と肉の汁と交つて特別な味が出る。

□林檎おろし

林檎の皮と心を去り、之をおろし金ですり下ろしにする、但し葵下しでは餘り細かくなつて美味くないから、ブリキに穴をあけた此の頃金物屋で賣つて居るおろし金の方が宜しい、之れに砂糖を交ぜ、匙で掬ふて食ふと、夏のアイスクリームに劣らぬ好物、下戸黨には舌皷すべき御馳走です。便秘の人などには殊に賞用される。

□林檎の甞物

之は屑林檎の安物を買入れ皮と心を去り、四ツか六ツに割り普通の鍋へ入れ水に浸る位にして煮ろ、煮えた頃に水を切つて、其儘に砂糖を入れ又一きり煮ろ、うまく行けば林檎の形が殘るか、或はとろけてどろ〳〵の甞物になる、御飯のお菜には子供等の最好物。

子供の智慧

□薄の涙

文治郎は、惡戯をして、戒められて、泣き乍ら、窓の外をみてゐましたが、秋雨にぬれてゐる薄の穗をみて「薄がお日さんが出ないで、困る〳〵と云つて涙を出して泣いてゐる」と申しました。

洗身の作用が、皮膚を荒し醜くすることになるのでありますから、汚垢の本質を知る以上は、その成分たる汚物と脂肪との落ちる作用、而かも皮膚を保護し美化するものでなくてはなりません、即ち化學的作用によつて皮脂と汚物とを吸收せしめ、それを物理的作用によつて洗ひ落すといふ効力がなければ、理想の洗身料とは申されません。クラブ洗粉は貴重な原料を以て調合精製してありますから、その汚垢を吸收する化學的な作用は十分に備へて、いかなる汚垢でも包容して了ひます、それでクラブ洗粉を溶いて皮膚に塗り、兩手掌で摩擦しながら洗ひまして、十分に汚垢を吸收させた上で、徐かに湯で洗ひ流しますと、汚垢はよく落ち、皮膚は丈夫で美しくなる、石鹼よりも、牛乳よりも遙に勝つた効力のある理想の洗身料であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信ちやんの

信子さん（上）

花崖

信ちやんは姉さんの跳子さんと茶の間でお人形を對手に遊んで居ました。其お人形は小さい赤兒程あるので二六時中茶の間に飾つてあるのでした。姉妹は餘り遊びに夢中になつてお人形と弄戲けてる中にうつかり火鉢の縁にあつた牛乳の罎を蹶倒し、罎は毀す牛乳は皆溢して仕舞ひました。姉妹は眞蒼になりました。

「さあ今夜は牛乳が食べられない。」と跳子さんは嘆息しました。お母さんから輕忽屋と思はれてる此姉妹は、今度此樣なことをすれば此次からはお夕飯に牛乳を食べさせないとお母さんから云ひ渡されたのでした。

「仕方がないわ。」と信ちやんは諦めて、「これから一層氣をつけませう。兎に角行つてお母さんにお話しませう。何か毀したら直ぐ云つておいでつてお母さんが二六時中仰しやるから。」

「え丶。でも一寸の間待つといでよ。」

いつ迄待つても姉さんは動き出しさうにしませんでした。そこで又信ちやんはさあ行きませうと云つて急き立てました。「まあもう少しお待ちよ。何だか怖くてあたし行く氣になれないんだから。」と跳子さんは尚忸怩して居ました。一體正直を云ふのに躊躇してはなりません。一寸の間など丶云つてる中に時が經つ程怖くなつて遂には眞實が云へなくなるものです。此場合の跳子さんがそれで、時が經つに從つて益々お母さんの許へ行くのが厭になつて來ました。そこで遂々信ちやんは一人で行つて仕舞ひました。獨りになつた跳子さんはお母さんに逢つたら何と辯解したものかと考へ初めました。姉妹が口を揃へてあたし等ぢやないと云へばお母さんも眞實になさるだらう。だが其前に信ちやんがお母さんに逢つちまうと困るが。此樣なことを考へてる處へお母さんが茶の間へ這入つていらつしやいました。此分では信ちやんも未だお母さんに逢つて居ない。旨いなと思つて此臆病娘は遂々お母さんに嘘を吐くことに決めて仕舞ひました。

室へ這入つていらしつたお母さんは一眼牛乳罎の有樣を見ると急に足を止めて、誰がしたのかと跳子さんに訊きました

「お母さんあたし知らない。」と跳子さんは蚊の泣くやうな聲

「さう、眞實なの？お前の一言の嘘よりは罎が皆毀れちまう方がお母さんはうれしいのよ。眞實のことを云つておくれ。」

「い丶えあたしぢやないの。」と跳子さんは火のやうに赤くなりました。

「ぢや信子かい？」

「い丶え信ちやんぢやありません。」跳子さんは信ちやんが是處へ這入つて來たら信ちやんにも自分ぢやないと云はせるつもりでした。

「ぢや誰なの？」

跳子さんは一つの嘘から又別の飛んでもない嘘を吐かねばならなくなりました。さうしてそればお人形だと答へました。

「お前それを見ておいでだつたの？」

「え丶。」と跳子さんは嘘を又一つ。

「ぢや見せしめにお人形を打つてあげる。」とお母さんは火箸を取りあげました。

子供の智慧

□ユダヤの村は？

ふみ子（五歳）が「ユダヤの村のベツレヘム……」と歌ふのを聞いて、文治郎（四歳）は「ユダヤの村はドチラデス」と大聲でうたつてゐます。

—（投書を歡迎致します）—

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説 **暗調（三）**

てい子

それを取つてはいけない、見てはならない、觸れる事はゆるさないぞと、愛のない異父母から一々嚴しい制限を加へられて育つ子供のように、のび〳〵した自由な輕快な氣質を不二はすつかり奪はれてゐた。

不二の眼界が内外に伸び擴がるにつれて、彼女の爲めに禁制の立札のあまりに多いのを知つた。そして壓抑されてゐる重味を年と共にふかく感じていつた。同時にそれをふり解いてどこかに突き拔けなければをられないような力が、ひとりでに彼女の内に盛れあがつてきた。此の異つた二つの分子が不二の心を絶えず縒れ縺れしてゐた。

不二は何にでも随てまはる生みつけられた血の暗さを忘れなかつた。忘れずにはをられない程の強い力と愛に吸ひ寄せられたかつた。そして泉のやうな靈感に洗はれて、廣い天地に大きく息づきたかつた。

そういふ慾求を抱いて不二は教會に行きはじめた。不二はそこで慰めと喜悅の感じをうけた。けれ共複雜に分裂してゐる内部を全的に統一してくれる程のものを確實に握る事はできなかつた。確かに掴んだと思ふものも、ある否定や時間の前には煙りのやうに薄すれていつた。幽靈のやうに消えてしまつた。不二は富夫の「解決されない問題」と「深く求むる者の苦しみ」を解し味はつていくように思つた。

不二には自分のもの丶見方や考へ方が鋭く偏してゆくのを知つてゐた。冷く曲つて成長してゆく自分がわかつてゐた。「私は僻んでゐる、意固地に僻がんでゐる」とさびしく自分を見守る事があつた。けれ共ひとりでに彼女をそう導く運命の根本的な不公平――不二はそう思はれるのであつた――に對して怒りに似た悲しみをも感ずるのであつた。彼女のそういふ感じは與へられる萬事を好きものとして受納るべき信仰を裏切つていつた。

街を歩いても不二の眼には、憔悴した病人や疲れた勞働者や老いた乞食などばかりが濃く沁み入つてきた。彼等が自分と共に影におかれた仲間であるかのやうに思はれる事さへあつた。毎日仕事に通ふ道で不二は癩病の乞食を見た。いつでも同じ處に坐つて彼は醜惡な額を地にすりつけながら哀れな聲を通る人にあびせかけてゐた。「親から傳へられた病素に毒されてゐるのでないかしら」不二はそう思ふ時に生々しい痛みを自分に感じた。そして彼と自分との間にもある繋ぎがあるやうに思はれた

同じ道で婆さんの乞食にもよく出會つた。日光を正面にうけた記憶が古びてゐるだろうと思はれる程婆さんの腰は折れまがつてゐた。婆さんの脊はいつも不二の脇腹のあたりを擦れていつた。歩きながら彼女の見うるものは人の爪先と地面ばかりであるらしかつた。痩けた頰を燒芋でふくらましてる時もあれば、腐されたような果物を大切そうに握つてゐることもあつた「あゝしてまでも生きて行く」と不二は婆さんの生の膠着力に感激させられた。「なんにも感じないのだらうか、考へないのだらうか、悟つてゐるのだらうか、それとも人間らしいすべての感情が磨滅してしまつたのだらうか、彼女の過去は？ そして未來は？」

人通りの少い路傍で日向ぼつ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

こなごしてゐる婆さんを見る時に不二は、婆さんが數知れない過去の思ひ出を繰りひろげてゐるでないだらうかと想像した。「私は疲れた、生きるのに疲れた」そう云つた婆さんが死んでしまはないのを、むしろ不思議に思ふ事もあつた。「疲れた、私は生きるのに疲れた」とたゞそれ丈けを云つて死の上に自分を投げ出したいやうな心の經驗を不二はもつてゐた。自殺したとか身投げしたとかなんでもなく書いてある二三行の短い新聞の記事にも不二は無神經ではをられなかつた。病氣や生活の苦惱がその原因である場合は特別であつた。家系のよくないと云ふ理由で婚約を破棄されて若い女の自殺した記事をよんだとき不二は涙なしではをられなかつた。死にまで自分を突きつめてゆく女の心がよくわかつた。

名士や學者と呼ばれてゐる人達が結婚しやうとする若い人とその周圍のものに、いろ〳〵な注意を與へてゐる雜誌や新聞の記事を不二は讀むことがあつた。不二のやうな體系に生れついたものは其の中の排すべき第一位に必ず擧げられてゐた。排されないうちに此方から退くべきだと不二は知つてゐながらも、襟元をつまんで底知れない深淵に投りつけられるやうなさびしさを感ずるのであつた。「誰からも呪はれ厭はれてゐる生命だ」と思ふ時、不二は自分の住む世界の狹められてゐる苦しさに泣かれた。

健全な者の爲めには健全に生くる道が常に説かれ拓かれるけれ共私のやうな中間に生くるもの――病者ではないけれど健康者でもない――の心裡にはいつも體と心の偏らない調和した生きかたを敎へてくれる、ものはない、こうして強い者の手で押しつぶされた弱いもの〻屍の上にやがてよりよき時代が築かれるのであらう、下敷にされた者の意識した苦しみなどは知る人もなしに……」

どんなものにでも暗い凝視を與へて自分の觀念に不二は拘泥はつてゐた。怜悧な彼女はそれをよく知つてゐた。

「蹲つて鞠つて小さい一點だけを見つめてはならない、眼をあげよ、そして大きいものを探ぐれ、求めよ、」こう自分に命じて進む道で不二は更に悲しまなければならぬものに行衝つた。

讀者から

▲布哇の川島政子様から「故郷の船の便りを待つ身には、存じも寄らぬ時々、御誌到着して、故國の近況を知らせていたゞきますのは、誠に何とも申せぬ樂しみでございます。當地も木の葉は散り、初冬の景色となりまして、この四五日めつきりお寒く、處々の煙突から、終日煙が立ち上ります。手作りの菊數種、掌大に咲きまして、日本の天長節前後の小春日和を偲ばせます。此の頃日本式の友染メリンスが頻りに

一六

流行致します。エンポリアムと申すマアケット街の大店にさへ、メリンスの帳場がございまして、一寸日本の呉服店の表を通りますやうです。」▲神田の森作婦美子様から。過去一ケ年、稍もすれば遅れ勝ちにならんとする私共をかくもお導き下さいました事を深く感謝いたします。殊に記念號に御掲載下さいました『現代の世界的婦人』誠に力強く拜讀いたしました。丁度製作に勞れて、半ば筆も進まず、外出致さうかと存じて居りました時に、バサリと郵便配達の投げ入れて居つた御誌を手にした時、近頃曾て覺えた事のない快感を禁じ得ませんでした。特に人に乏しき美術界に、世界に誇るに足るべき人として、我が松園蕉園の兩女史ありと云ふ處に至つて、益々意を強うする事が出來ました。御誌によつて、斯く迄に廣やかな前途のある事を目のあたりお示しをいたゞきました事を上なく喜んで居ります。」

○ほりだし物バザー　赤坂新町三ノ四六婦人矯風會主催のなげ出し物、ほりだし物慈善市は、廿三日廿四日に亘り同所に於て開らかるゝ由、入場券十錢にて、クリスマスの贈答に恰好なる品物もある由。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□大演習御統裁　大元帥陛下には玉體の御疲れもあらせられず福岡の野に日々大演習の御統裁を遊ばさるゝ由漏れ承ります。尚　陛下には、海路御還幸の御豫定なりしも、陸路に變更して門司に出させられ、十六日下關御通過、長府町毛利邸に御一泊還幸の途に就かせらるゝ事に御治定遊ばされました。

□皇后宮の今日此頃　陛下には十二日午前新宿御苑に行啓あらせられ、東宮並に兩皇子殿下と共に御清遊遊ばされ、十三日は午前八時四十分、永田町なる御母校學習院女學部記念式に行啓尚ほ十六日には東京音樂學校に行啓あらせられました。

□觀菊御會御治定　天皇、皇后兩陛下には、二十日午後二時赤坂離宮へ行幸啓、觀菊御會を催させらるゝ御事に御治定相成りました。

□兩皇子文展御成　淳宮、高松宮兩皇子殿下には、十四日文展に御臺臨あらせられました。

●ウ氏再選　過般ヒューズ氏當選の噂高かりし、米國大統領選擧は、加州に於て民主黨の勝利鮮かとなり、ウイルソン氏再選さるるに至りました。

●未曾有の空中戰　近く新紙の報ずる處によれば、去る九日バパウムの東北なる空中に於て、七十臺の飛行機入り亂れて堂々たる空中戰を試みました。交戰錯綜の爲めに、未だ戰鬪の全經過に就ては知る由はありませんが、世界史上に曾て見ざる壯觀と思はれます。

●獨軍損害三百七十萬　十月中公式に發表せられたる獨軍の損害は、十九萬千六百七十五名にして、此内三萬二千五百四十四名は戰死、總損害數三百七十五萬五千六百九十三名内死者は八十五萬五千八百十七名との事です。

●修羅の巷となれるブ市　この頃の報によれば、ブリュッセルの到る處は修羅場と化したと申します。これは獨逸が壯健なる白耳義國の男子數千名を強制して、勞役に從事せしめんと企て、其の第一回の狩立をして、一團のものを停車場に連れ來りし時、計らずも兩者間に爭鬪を生じ、爲めに獨逸人三十名は死傷し、白國人側にも多くの死傷を出し、同市内の者に何者と雖も市外に出づるを許されず、慘狀を極めて居ると申します。

●亞王國成る　米國々務卿ランシング氏のもとに、十一日アラビヤ王國の建設せる旨の報告があつた由です。

●ノーベル賞金の受賞者　佛のロマン、ローラン氏は千九百十五年度のノーベル賞金を瑞典の詩人ハイデンスタム氏は本年度の賞金を受くべしと傳へられます。ローラン氏は今年五十歳、昨年「混沌の上より」といふ著書を出版して、佛國文壇に漸く認められんとして、今日の戰爭は軈て來る平和の先驅であらねばならぬと主張して居られます新時代を作る思想家と見るべき人であります。

●初めての女議員　ミス、ジャネット、ランキン女史は、モンタナ州から亞米利加合衆國下院議員に選出されました。女史は三十五才、モンタナ州立大學卒業後教育界及び政治界に活動して居た人格高潔の淑女で、知人から尊敬せられて居る人であります。婦人の議員は女史が嚆矢なるを以つて、今や米國一般の注意の的となり、女史も其の責任の重大なるを自覺し、選擧人の信認に背かざる事を期して居ります。

●松園女史の光榮　十日文展に於て御前揮毫の光榮を得たる上村松園女史は、十一日三室戸主事を經て更に御用命の光榮に接し、二幅對及び三幅對の二點を揮毫の上献上いたす事になりました。

●戰の祖國へ　神田氏錦町佛英和高等女學校長メール、ア、ジョセフ女史（五四）は、十一日故國佛蘭西に向けて出發されました。女史は廿七八年前來朝されて以來一日の如く我國の宗教と女子教育の爲めに盡されて居りました。今回の歸國は、目下シャッルに開催中の「サン、ポーロ」修道女會大會に參列の爲の由なれば、再び歸京いたさるる筈です。

●潛水艇の爆發　十三日午後二時半吳海兵團所屬第一潛水艇隊は司令心得海軍少佐太田淨信氏指揮の下に、小豆島沖を航行中第四號潛水艇のガソリン爆發して、行方不明者二名、重傷六名、輕傷八名を出しました。

●文部省の募集締切らる　曩に文部省が、六十日の期限と五百圓の賞金とを懸けて、全國から廣く小學修身書と讀本の教材を募集しましたが、愈十三日を以て締切りとなりました。應募者八百二十五人、編數三千五十一の多數を見るに至りました。尚ほ審查發表は、十二月下旬の筈です。

●五實業家表彰さる　十日左記五名の實業家に對し、多年斯界に盡力せる功勞を思召され、叙位敍勳の御沙汰ありました。

從五位勳三等男爵鴻池善右衛門「叙正五位（特旨を以て位一級被進）」從四位勳四等男爵三井高保、從五位久原房之助「叙勳三等授瑞寶章（各通）」從四位勳三等志村源太郎、勳四等志立鐵次郎「金杯一個を賜ふ」（各通）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●**從軍記章千六百名**　陸軍步兵大尉從六位勳六等磯谷復六氏以下千六百餘名は大正三四年戰役の功に依り、孰れも今般從軍記章を下賜せられたる旨賞勳局より發表せられました。

●**電車割引時間の變更**　東京市電氣局にては來る十六日より電車發車及び割引時間を下の通り改正致しました。午前五時三十分發車、同五時三十分より同七時迄割引。

●**蔡鍔氏逝く**　去る九月以來、福岡の醫科大學病院に入院加療中なりし、支那第三次革命の急先鋒蔡鍔將軍は、三十五歲を一期として八日遂に永眠されました。氏は湖南邵陽の貧家に生れ、母の手一つに育てられ、十四歲にして秀才の學位を得、更に政治經濟を修め、後我國に來遊し、明治三十七年我士官學校を優異なる成績にて卒業し、爾來革命の大志を抱き、漸進主義の革命論者として德望も高かりしを、惜しむべきことであります。

●**エツク氏の祝賀會**　東京帝國大學文科大學講師エミール、エツク氏の勤續廿五年祝賀會は、十一日午後五時より上野精養軒に開かれました。氏は佛國の人がアチユー大學出身にして、千八百九十一年我國に來朝して今日に至つたのであります。

●**江藤新平氏の記念碑**　芝虎の門公園に建てられた江藤新平氏の碑は、十二日午前九時除幕式を擧行いたしました。同碑は荒木三雄氏が獨力にて成せるものにして、先代博臣氏が江藤氏に受けたる恩義に報ゆる爲めなりと傳へられます。

●**大杉榮氏刺さる**　東京市四谷區南伊賀町四一に住する社會主義者大杉榮氏(三十二)は九日午前二時頃相州葉山の日蔭茶屋にて神近市子氏(廿九)の爲めに刺れたるも生命に別狀なしと、一方神近氏は自首し、十日朝橫濱監獄に護送せられました。

●**山科正二位逝去**　古來高倉家と並び稱せられし、裝束衣紋の名家、山科言綏伯の先代正二位言繩翁(八二)は八日午後逝去しました。

●**雲右衞門逝く**　浪界の重鎭として一時其の名を謳はれたる、桃中軒雲右衞門事岡本峯吉は、肺患の爲め十日遂に死去いたしました。享年四十四、彼れが最も全盛なりしは大正二年にして同年間の收入は八萬二千七百餘圓、又同年の支出は七萬九千餘圓にて、わづか三千餘圓を餘したるのみなりしと申します、斯くの如き遣り方なりし爲め臨終には纔か五十五圓の貯へありしのみにて葬式等の費用の出處もないとの事です。

●**熊のお引越し**　十二日秋晴の日曜日上野動物園の熊は、今迄の檻の位置を替へる爲めに、一時小さな小屋の中に引越しました。

女學校だより

△**女子美術學校**　本郷菊坂の同校にては、十二月一日より十日迄每日午前中、和洋料理の講習會を開く筈。

△**麴町高等女學校**　十七日午前九時より、母の會を開き生徒の母を招待します。

個人消息

△**菊池ムツ子**　女子大學卒業後醫學研究の目的を以て、過般渡米中でありましたが病氣の爲め療養の目的にて一と先づ十八日橫濱着の佐渡丸にて歸朝の筈です。

△**嘉悅孝子**　母堂ひさ子刀自(七三)が腦の疾患に罹られ、衰弱甚しきため、一切の面會を謝絕して晝夜看護に從つて居られます。

△**宮岡花子**　(辯護士宮岡恒次郎氏令孃)此の程堀越商會倫敦支店長米田太司雄(卅一)と結婚十三日橫濱出帆の春洋丸に搭じ米國經由渡英の途に就かれました。新郎は東京高等商業出身、新婦は東洋英和女學校の出身。

△**矢島楫子**　北村四海氏の好意による大理石像は愈よ彫刻さるゝ事となり、十三日より同氏のアトリエに通はる。

編輯室より

▲小春日和に誘はれて、此處の露臺に置かれた梅の鉢植ゑは、いつしかふくよかな蕾を持つて、眞白い一輪の花をつけました。同じ向きの見付の櫻も若本が三四本盛んに花が咲いて居ります。さる人がすさまじきものに數へた返り咲きも、長閑なきのふけふには、ふさはしい氣がいたします。▲友の一人が水仙花を携へて來て下さいました。「今年ももうこの花が咲くやうになつたのか」と、忘れたものを呼び醒まされるやうに、其の清き香に浸るのでした。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査。裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■會員募集 ■講義録つき見本 ■會則端書にて申込次第無料進呈 ■卒業十ケ月

最新和歌講義録

■講師は博士學士大家なれば文壇一流の將來最便宜多し

■會員自作の長詩及短歌無料添削

■講義は極めて平易明快懇切加ふるに最新知識を傾倒す

■會員諸氏の詩歌練磨に機關雜誌毎月無料進呈

■會費至廉待遇懇切

■東京小石川豊山大學前 振替東京三三四三九番 大日本和歌講習會

目下大特典あり 至急入學者に限り(特別優待)

入學絶好機來る

家庭衛生講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す

一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内

一、期間　自毎月十六日至次月十五日　月水金　午後二時より四時迄

一、講習料　金十圓也(前納の事)

一、人員　十名を以て定員とす

一、證書　講習修了者には修了證書を交付す

一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得　職業として更らに研究し度き方は以後二年間當所に於て實地研究(無料)を積まるれば出願の履歴書に證明を與ふ

一、主催　婦人矯風會東京部會

一、講習主任　醫師藤井孝

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部電話芝一七五三に申込まれたし。

高木鋒子考案

鳩印安全下着

大人用　大五十錢　小四十五錢

子供用 カンビネーション　大六十錢　中五十五錢　小四十錢

型紙何れも五十錢

ピーナットバター　一罐四十錢

婦人週報社代理部　振替東京三一六六〇番

肝油服用者之福音

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

三百球入 貳圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢
送料各八錢

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一　工場 東京赤坂新町三ノ三十二

藥劑師 富谷宗吉藥局

電話芝六二八〇番　振替東京七〇八一番

體力精力增進に今が肝油服用時期

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二番
東洋内科醫院
院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

和洋服は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同様になります
外套・インバ・東コート・**ネル・セル・ショール・半襟毛皮**等のクリーニングと染色を**丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル 御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

古本
高價に買受ます
御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴巻町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四一

產科、婦人科、小兒科
女醫 **井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

内科 小兒科
第一家庭病院
院長 醫學士 **加用信憲**
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇二）
（入院隨時）

内職を奬勵する
大日本婦人手藝會

本會は一般家庭の內職を奬勵する爲に、編物、刺繍、絲細工、造花、袋物、摘細工等日本婦人に適當な手藝を無料でお敎へして、何等の素養の無い方でも、數日の中に賃銀を得られるやうにおさせ申したいのです。製作品は本會で永久に引受けて輸出品とし、一方我が國の富力の幾分をも助け、皇恩に報い奉りたいといふ望みです。婦人週報第四十三號掲載の山脇博士のお説に御同感の方々には最も適當な會と存じます。もし本會の趣意に御贊成の會員が數人一と所にあれば出張敎授も無料で致します。
詳細は郵劵二錢封入お申込み下されば規則書をお送りします。
東京麴町區富士見町五ノ二
（靖國神社横）
大日本婦人手藝會

◎**產婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 三三五七
東京至誠病院

料理講習會
毎週土曜日午前中
會費一回卅五錢
束修五十錢
（主婦以外の婦人の爲）
西洋料理
毎週月、金午前中（主婦としての爲）
會費一回五十錢
束修五十錢
會席料外に
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢束修五十錢
本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番
櫻井女塾

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

羽仁もと子主幹　十二月號出來

新少女

◎お小遣のつかひ方　羽仁もと子

●寫眞小説 火の番の娘　町内の頭の娘徳ちやん兄に代りて一夜火之番に出ると忽ち起る一場の大活劇！

◎紀州のおふかさん　私の見た少女　與謝野晶子

◎傳説 三味線長者　富士山麓、三味線林の由來はひろく世に知られてゐない面白いお話　河井醉茗

◎新少女愛讀者 武藏野遠足會の記　寫眞と記事と

子供之友

△ハッキリとした分りやすい文章

△正確な構圖おちつきのある色彩

△自然に子供の頭がよくなります

△高尙な感情も養はれてゆきます

新少女 金十二錢 郵税一錢 半年税共七十二錢　子供之友 金十二錢 郵税五厘 半年税共七十二錢　發行所 婦人之友社 東京雑司ヶ谷 振替東京一一六〇〇

最善なる音譜は最も廉價なり

◉全國第一等の音譜製造會社の肉聲原盤を一枚に精良盤を加へ全部十枚にて

金參圓也

◉これほど安く賣る店は他にありますか？うそか誠か、御註文を願ひます。大勉强を以て御要求に應じます。御註文は一組はオロカ御指定の曲目一枚でも早速御屆け致します。

日本蓄音器商會
帝國蓄音器商會
東京音譜製造株式會社
東京蓄音器株式會社

小石川區原町三番地（白山電車停留所前）

【特約店】三美堂蓄音器店

電話番町四四六一番

發賣元

改良經濟紙四十枚分一帖金三錢他店にて買ふ事の出來ない半紙代用紙があります一度御試用を是非御勸め致します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA